

平成24年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社住友倉庫

平成23年11月14日



Best Synergy & Best Solution

目次

	ページ
I. 平成24年3月期第2四半期決算の概要	
I-1. 第2四半期決算の状況	1
I-2. セグメント別営業収益	2
I-3. セグメント別営業利益	3
I-4. 財政状態	4
I-5. キャッシュ・フローの状況	5
II. 平成24年3月期見通し	
II-1. 業績の通期見通し	6
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	7
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	8
II-4. 主な設備投資案件	9
III. グループの重点戦略	
III-1. 事業環境	10
III-2. 事業部門別営業収益の状況	11
III-3. 中長期的視点での重点施策	12
III-4. 海外事業の取組み①	13
海外事業の取組み②	14
III-5. 国内事業の取組み①	15
国内事業の取組み②	16
III-6. 新規事業の取組み	17

【補足資料】	ページ
①保管用倉庫面積・保管残高	18
②トランクルーム期末保管残高	19
③港湾運送取扱量	20
④国際輸送取扱量	21
⑤賃貸ビル面積	22

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

I .平成24年3月期第2四半期決算の概要

I-1. 第2四半期決算の状況

(単位:百万円)

決算期	平成23年3月期 第2四半期		平成24年3月期 第2四半期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	65,059	100.0%	68,303	100.0%	3,244	5.0%
営業利益	4,933	7.6%	5,089	7.5%	155	3.1%
経常利益	5,480	8.4%	5,563	8.1%	82	1.5%
四半期純利益	3,288	5.1%	3,084	4.5%	▲203	▲6.2%
1株当たり四半期 純利益 (円)	18.43	—	17.30	—	—	—

営業収益	当社単体・国内外既存子会社・遠州トラックのすべてが前年同期比で増収
営業利益	増収効果に加えて減価償却費等の減少もあり、増益
経常利益	営業利益の増に加え、受取配当金増加等により、増益
四半期純利益	特別損失として不動産の設備更新工事に伴う固定資産除却損等を計上し、減益

I-2. セグメント別営業収益

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期第2四半期	平成24年3月期第2四半期	増	減
1. 物流事業	60,047	63,675	3,628	6.0%
①倉庫収入	10,511	10,733	222	2.1%
②港湾運送収入	18,366	19,747	1,380	7.5%
③国際輸送収入	12,534	13,599	1,065	8.5%
④陸上運送ほか収入	18,635	19,595	960	5.2%
2. 不動産事業	5,217	4,835	▲382	▲7.3%
⑤不動産事業収入	5,217	4,835	▲382	▲7.3%
計	65,264	68,510	3,245	5.0%
セグメント間内部営業収益	▲205	▲206	▲1	▲0.6%
純営業収益	65,059	68,303	3,244	5.0%

①倉庫収入	貨物保管残高、入出庫の取扱いとも堅調に推移したことから、増収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌は中国をはじめとするアジア航路の取扱いが増加し、一般荷捌も輸入貨物の取扱いが回復したことから、増収
③国際輸送収入	海外子会社が概ね順調であったほか、航空貨物の取扱いが拡大し、一貫輸送も堅調に推移したことから、増収
④陸上運送ほか収入	連結子会社におけるトラック輸送の取扱いが増加したことから、増収
⑤不動産事業収入	昨年末に一部の賃貸物件においてテナントの退去があったことなどから、減収

I-3. セグメント別営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期 第2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減	
			増	減
1. 物流事業	3,833	4,223	390	10.2%
2. 不動産事業	2,951	2,754	▲196	▲6.7%
計	6,784	6,978	193	2.9%
調整額	▲1,850	▲1,888	▲38	▲2.1%
純営業利益	4,933	5,089	155	3.1%

物流事業	日本・アジア間をはじめとする国際輸送業務や国内における倉庫業務の取扱い拡大に努めたほか、国際輸送や港湾運送を中心に貨物の取扱いが増加したことから、増益
不動産事業	昨年末に一部の賃貸物件においてテナントの退去があったことなどから、減益

I-4. 財政状態

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期末	平成24年3月期 第2四半期末	増 減 額
総 資 産	228,377	226,311	▲2,066
負 債	115,436	113,283	▲2,152
純 資 産	112,941	113,027	85
(うち少数株主持分)	(4,511)	(5,882)	1,370
自己資本比率	47.4%	47.3%	-
1株当たり純資産	607.58円	600.40円	円

総 資 産	子会社株式取得等に伴う「現金及び預金」の減少や保有株式の株価下落による「投資有価証券」の減少等により、減少
負 債	その他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の減少等により、減少
純 資 産	「その他有価証券評価差額金」は減少したものの、「利益剰余金」の増加、子会社の増資に伴う「少数株主持分」の増加等により、微増

I-5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期第 2四半期	平成24年3月期 第2四半期	増 減 額
営業活動によるCF	4,447	5,351	903
投資活動によるCF	▲1,456	▲5,432	▲3,976
財務活動によるCF	▲1,724	▲3	1,720
現金及び現金同等物四半期末残高	11,583	15,295	3,712

営業活動によるCF	税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により、増加
投資活動によるCF	子会社株式の取得による支出等により、減少
財務活動によるCF	子会社の増資に伴う少数株主からの払込による収入がある一方、配当金の支払や借入金の返済による支出等により、減少

Ⅱ.平成24年3月期見通し

Ⅱ-1. 業績の通期見通し

(単位:百万円)

決算期	平成23年3月期実績		平成24年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	130,377	100.0%	141,000	100.0%	10,623	8.1%
営業利益	9,610	7.4%	9,800	7.0%	190	2.0%
経常利益	10,465	8.0%	10,700	7.6%	235	2.2%
当期純利益	4,372	3.4%	6,200	4.4%	1,828	41.8%
1株当たり当期純利益 (円)	24.51	-	34.77	-	-	-

営業収益	国際輸送及び港湾運送における取扱の回復に加え、第4四半期に連結されるウエストウッド SHIPPING ラインズ社の期間業績予測を加え、前年度比8.1%の増収を予想
営業利益	国際輸送及び港湾運送における取扱増加による限界利益の増等を考慮し、前年度比2.0%の増益を予想
当期純利益	経常利益の増に加え、特別損益が改善することから、前年度比41.8%の大幅な増益を予想

Ⅱ-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

営業収益

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	120,526	126,750	6,224	5.2%
2. 海運事業	—	5,000	5,000	—
3. 不動産事業	10,267	9,650	▲617	▲6.0%
計	130,794	141,400	10,606	8.1%
セグメント間内部営業収益	▲417	▲400	17	4.1%
純営業収益	130,377	141,000	10,623	8.1%

営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	増	減
1. 物流事業	7,314	8,050	736	10.1%
2. 海運事業	—	50	50	—
3. 不動産事業	5,900	5,500	▲400	▲6.8%
計	13,214	13,600	386	2.9%
調整額	▲3,603	▲3,800	▲197	▲5.5%
純営業利益	9,610	9,800	190	2.0%

Ⅱ-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

設備投資額

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	平成24年3月期	増 減
			第2四半期実績	
1. 物流事業	1,728	5,600	2,433	3,872
2. 海運事業	—	4,300	—	4,300
3. 不動産事業	150	2,100	1,013	1,950
計	1,878	12,000	3,447	10,122
4. 全社	120	700	388	580
連 結	1,999	12,700	3,835	10,702

減価償却費

(単位:百万円)

区 分	平成23年3月期 実績	平成24年3月期 見通し	平成24年3月期	増 減	
			第2四半期実績		
1. 物流事業	3,805	3,800	1,794	▲5	▲0.1%
2. 海運事業	—	50	—	50	—
3. 不動産事業	1,882	1,800	861	▲82	▲4.4%
計	5,687	5,650	2,656	▲37	▲0.7%
4. 全社	633	700	329	67	10.6%
連 結	6,320	6,350	2,985	30	0.5%

Ⅱ-4. 主な設備投資案件

区 分		平成24年3月期 第2四半期	平成24年3月期 (通期見通し)
物 流	羽生アーカイブセンター建設工事（埼玉県羽生市） 工 期：平成23年2月～平成24年1月	15.1億円	34.0億円
	住友倉儲（中国）第二期倉庫建設工事（中国・上海） 工 期：平成23年9月～平成24年6月	0.3億円	2.8億円
海 運	ガントリークレーン付オープンハッチ型多目的船 2隻購入	—	43.0億円
不 動 産	東京住友ツインビル中期保全工事（東京都中央区）	4.5億円	11.7億円
	淀屋橋オフィスビル建設工事（大阪市中央区）	1.7億円	2.0億円

Ⅲ.グループの重点戦略

Ⅲ-1. 事業環境



Best Synergy & Best Solution

◆ 経済動向

(国内)

- 円高、電力の不足と料金値上げ、高い法人税率、自由貿易協定への取組み、労働規制、環境制約のなか国内企業の海外シフトが加速
- 国内需要は震災後、着実に回復／下半期は復興需要も期待

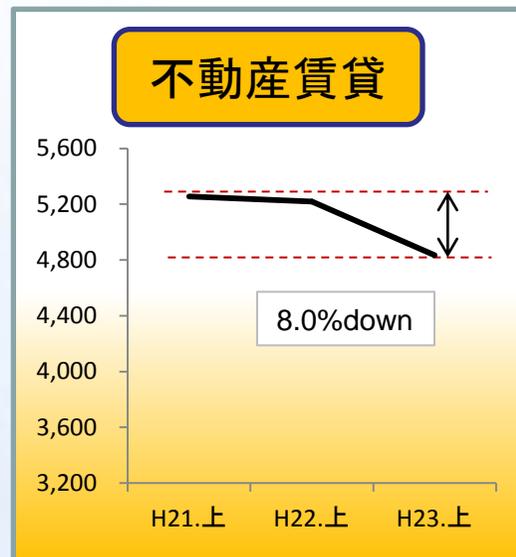
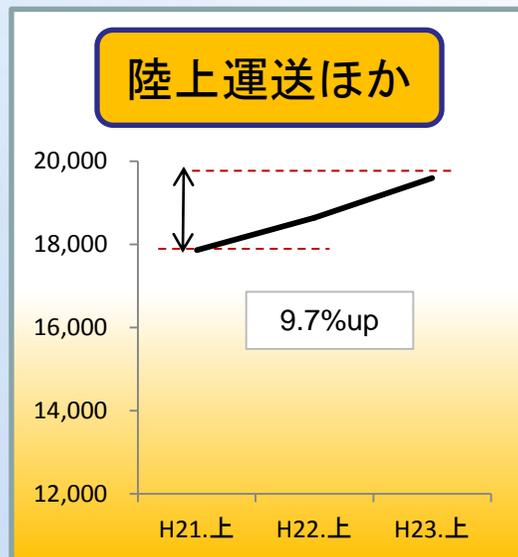
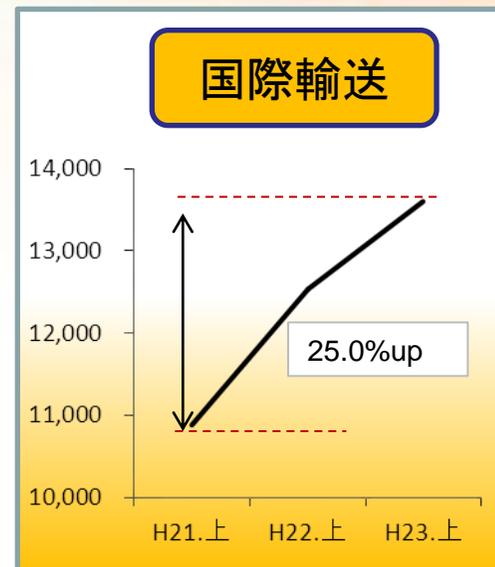
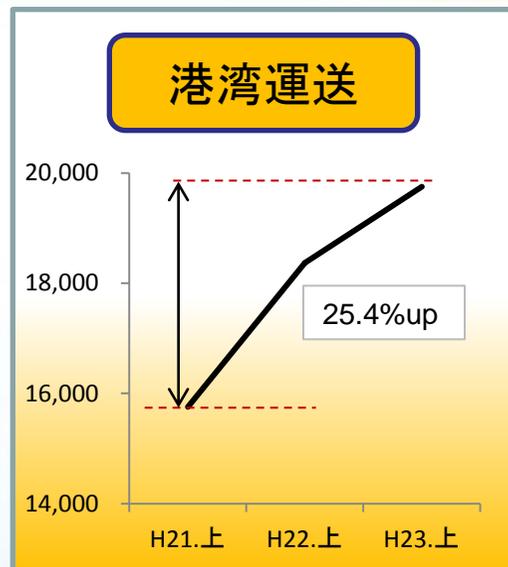
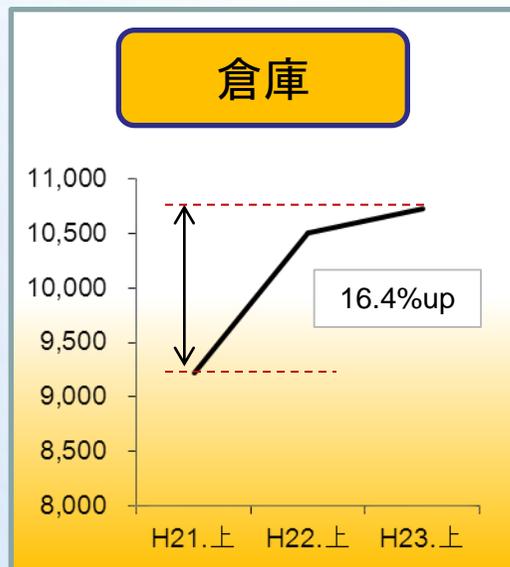
(海外)

- 米国債格付引下げ、欧州債務問題、新興国のインフレ懸念のなか経済成長の減速懸念
- アジアの経済成長は引き続き堅調／需要は旺盛

Ⅲ-2. 事業部門別営業収益の状況



Best Synergy & Best Solution



好調下で
次の一手を

(グラフ縦軸の単位は、百万円)

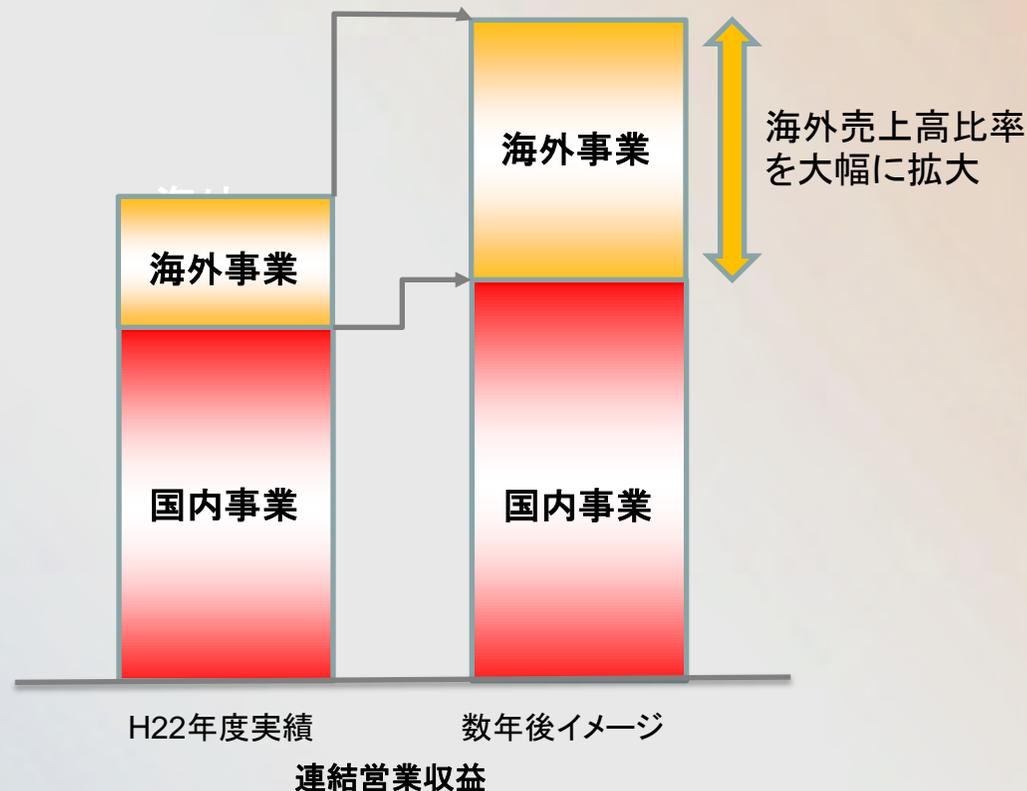
Ⅲ-3. 中長期的視点での重点施策



Best Synergy & Best Solution

中長期目標

- ◆ **海外事業の展開を加速**
 - ・一層のグローバル化により、
海外売上高比率の大幅な拡大を図る
- ◆ **国内事業の強化**
 - ・国内物流は各既存事業強化により
着実な成長を実現
 - ・不動産事業は物件数の増強により
基盤強化を図る
- ◆ **新規事業の着手と推進**



Ⅲ-4. 海外事業の取組み①



Best Synergy & Best Solution

国際

◆ 事業領域拡大への取組み

◆ 工場構内物流

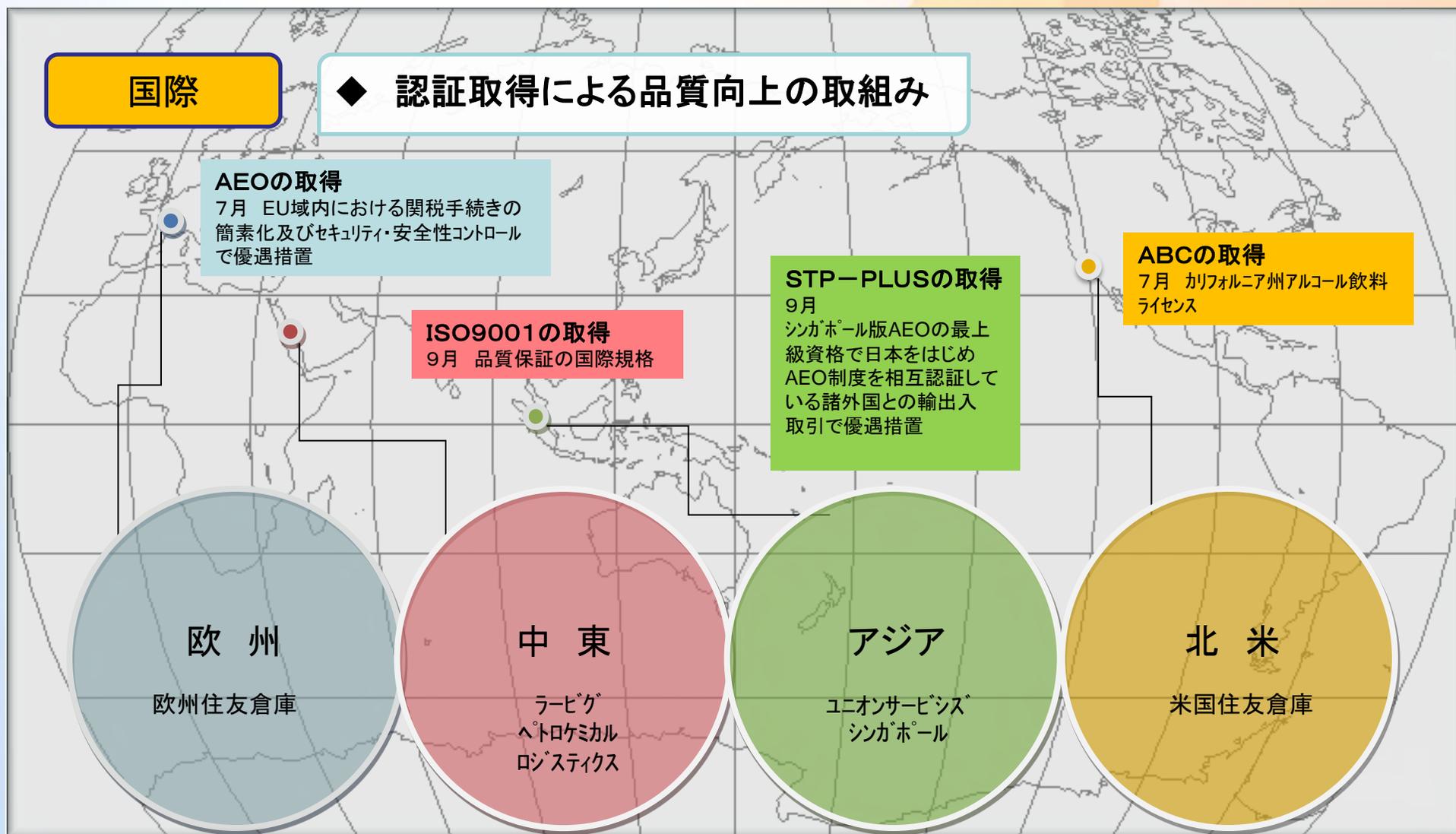
- ・ラービグ工場構内物流の運営ノウハウを生かした取組み
- ・A社(大手化学品メーカー様)
シンガポールでの第二工場構内物流受命(8月)

◆ バイヤーズコンソリ・非居住者在庫

- ・B社(パソコン周辺機器メーカー様)
中国・華南地区での
バイヤーズコンソリ業務開始(2年前)
非居住者在庫業務開始(2月)
- ・C社(大手制御機器メーカー様)
西欧(アントワープ)での
非居住者在庫業務(5月)
- ・D社(大手精密機器メーカー様)
中国・華南地区での
非居住者在庫業務に向けて(取組み中)



Ⅲ-4. 海外事業の取組み②



Ⅲ-5. 国内事業の取組み①

倉庫

- ◆ アーカイブ事業の強化
 - ・ 羽生アーカイブセンター建設中(平成24年1月竣工予定)

- ◆ 3PL事業:配送センター業務の推進
 - ～ 当社グループの取組み ～
 - ・ B社(パソコン周辺機器メーカー様)関東配送センター業務受命(8月)

- ◆ 震災後の在庫積増し需要、拠点分散需要への取組み

Ⅲ-5. 国内事業の取組み②

不動産

- ◆ 淀屋橋オフィスビル建設計画の推進
- ◆ 戸田再開発計画の推進
- ◆ 新規投資の活性化



淀屋橋オフィスビル建設予定地

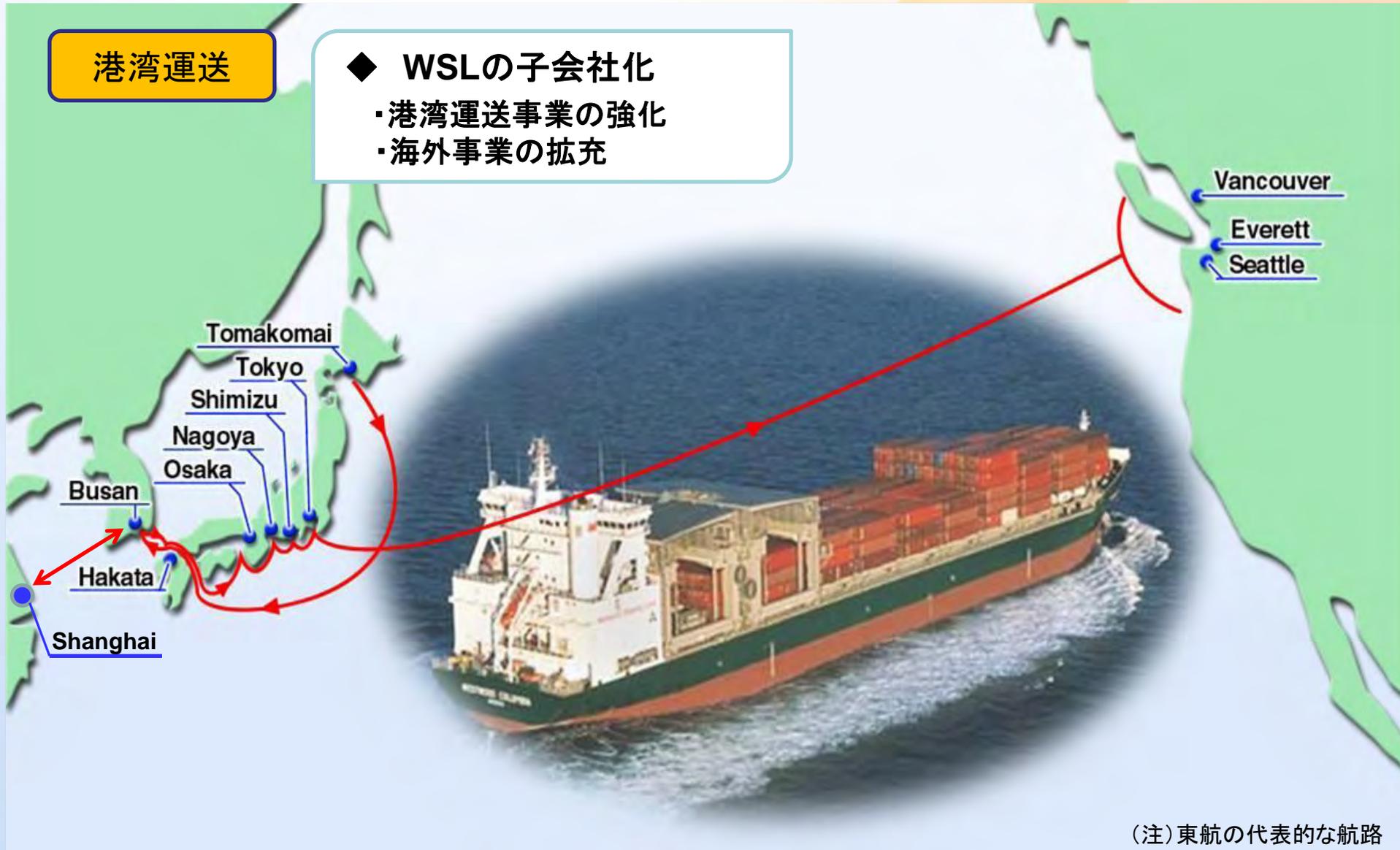


淀屋橋オフィスビル完成予想図

Ⅲ-6. 新規事業の取組み

港湾運送

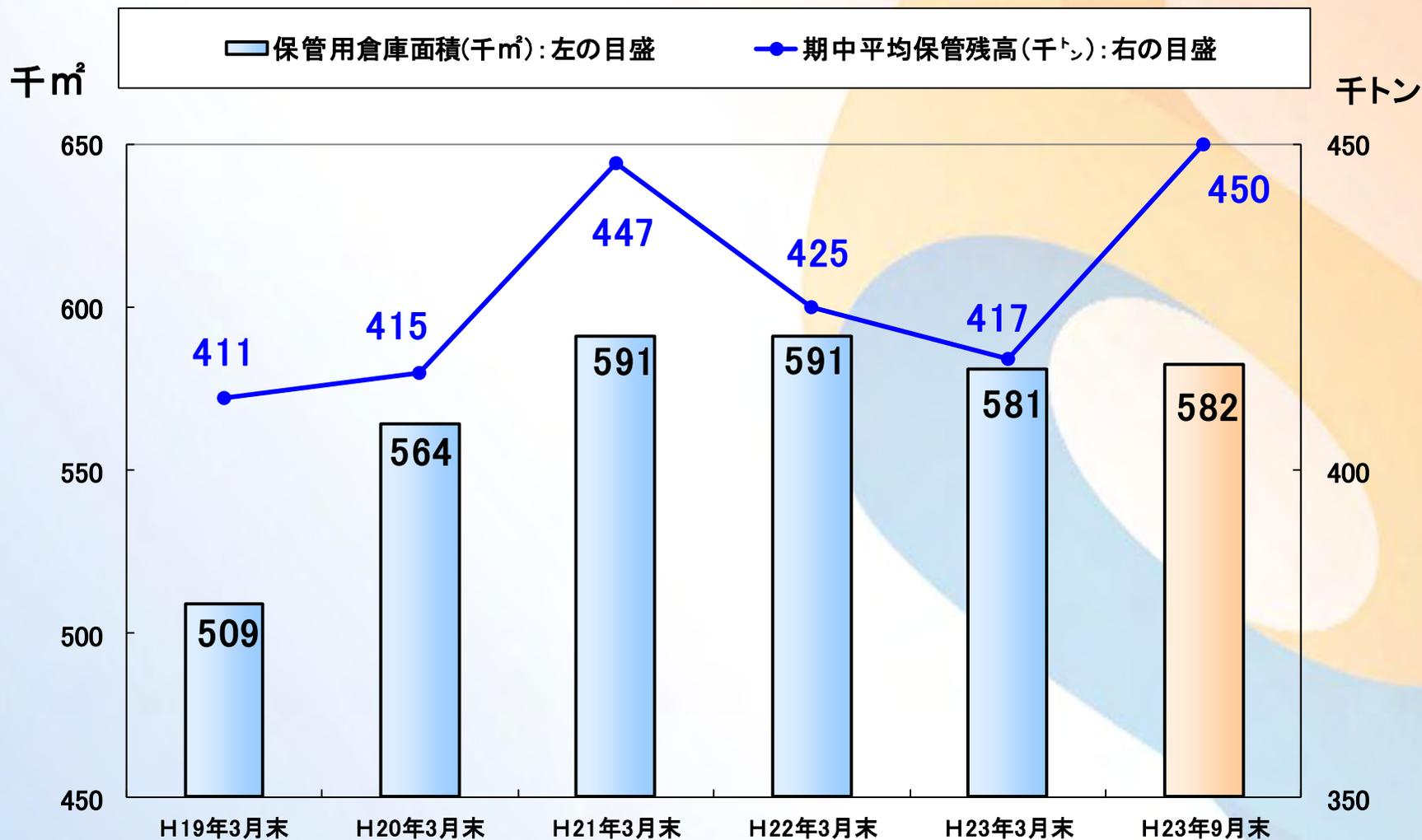
- ◆ WSLの子会社化
- ・港湾運送事業の強化
- ・海外事業の拡充



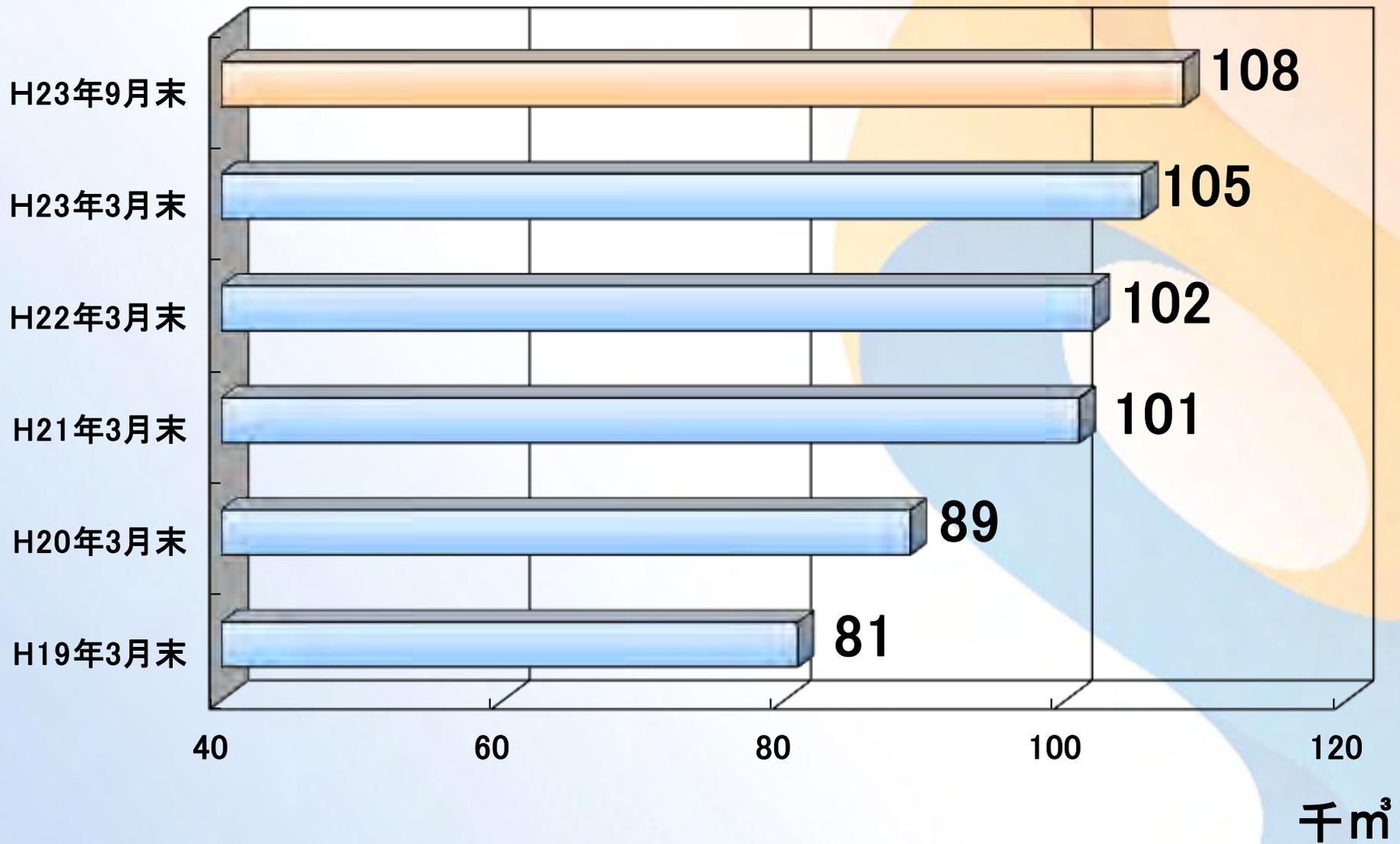
(注)東航の代表的な航路

補足資料

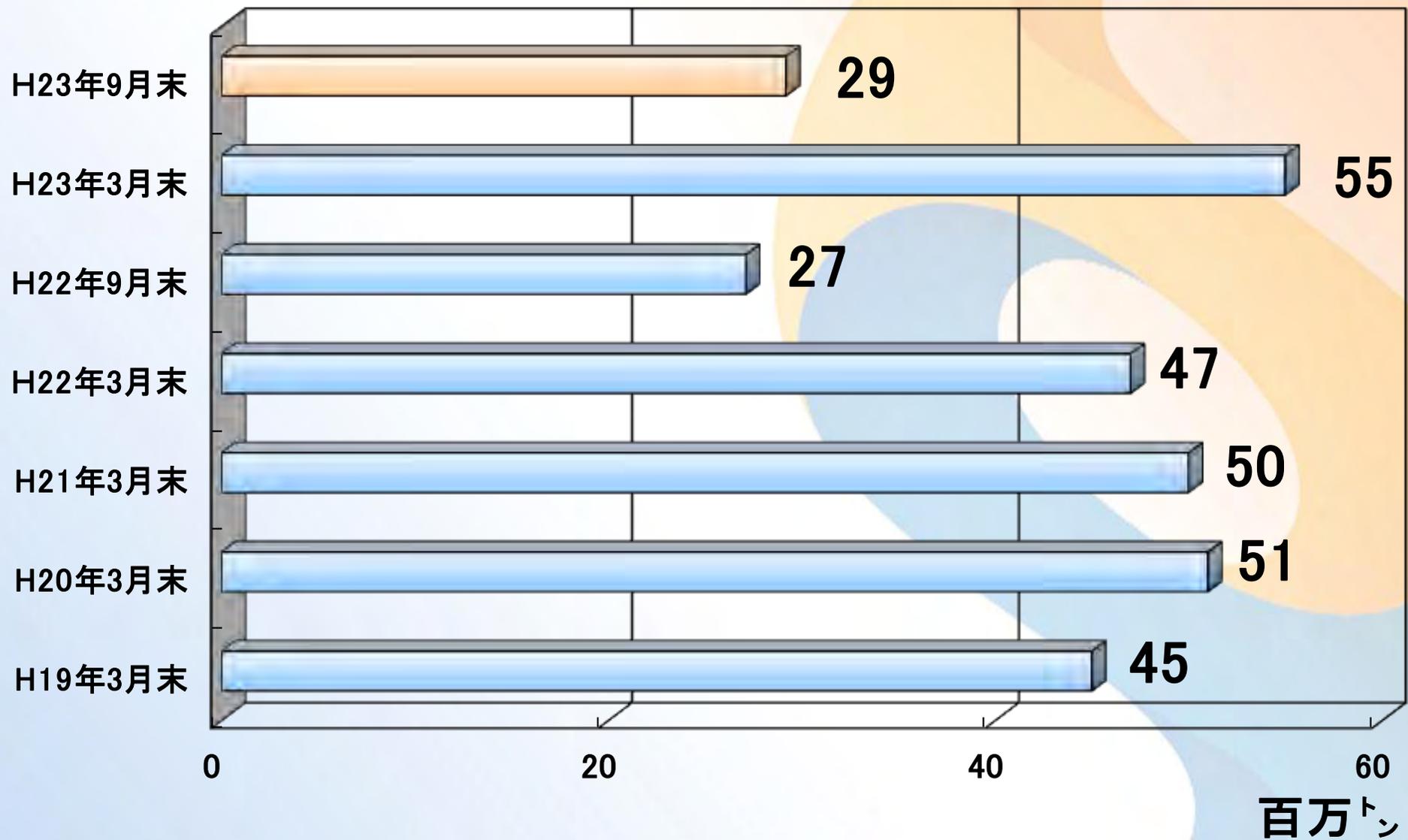
① 保管用倉庫面積・保管残高



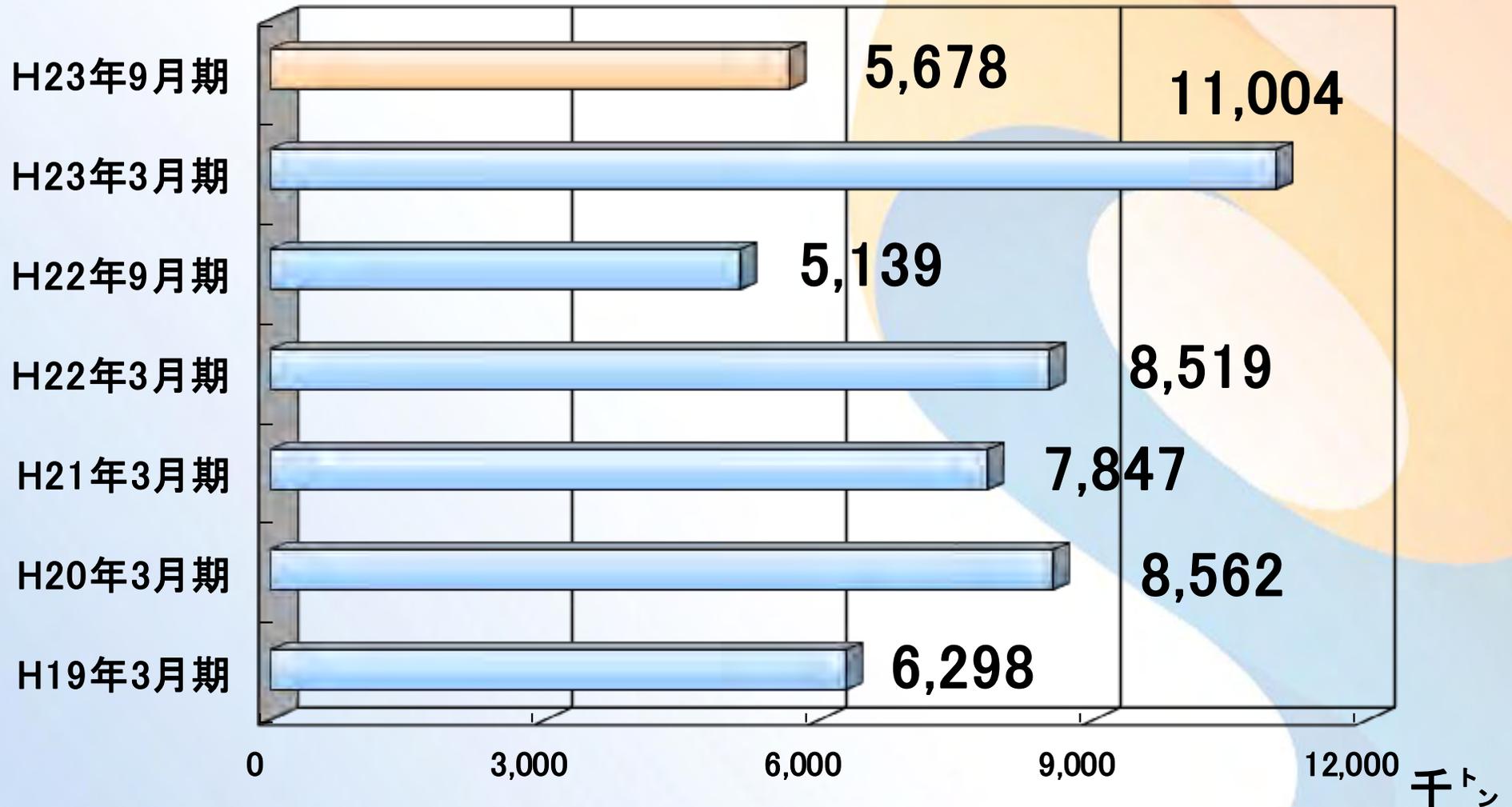
② トランクルーム期末保管残高



③ 港湾運送取扱量



④ 国際輸送取扱量



⑤ 賃貸ビル面積

